

「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産一覧表への「記載」決議に係る
松本 洋平 文部科学大臣談話

韓国の釜山で開催中の世界遺産委員会において、我が国が推薦していた「飛鳥・藤原の宮都」を世界遺産一覧表に記載することが決議されました。

「飛鳥・藤原の宮都」は、東アジアの古代国家の形成期において、日本列島で初めて中央集権体制が誕生・成立した過程を、2つの宮都の変遷を通じて示す古代国家の宮都の考古学的遺跡群です。

全19件の構成資産が世界文化遺産として登録されたことについて、地元をはじめとする多くの関係者の皆様の長年にわたる御努力に深く敬意を表します。関係者の皆様には、引き続き遺産の保存・活用に、地域社会一体となって取り組んでいただきたいと思います。

文部科学省としても、人類の共通の宝である世界遺産を確実に次世代に継承するため、関係自治体及び関係省庁と連携しながら、文化遺産の保護に万全を期すとともに、国内外の多くの人々が現地を訪れ、その魅力に触れることができるよう、価値の発信や受入れ環境の整備等にしっかりと取り組んでまいります。